

平成28年度学校評価報告書

北海道下川商業高等学校

1 本年度の重点目標

- ・基礎学力の定着を図り、自ら学ぶ意欲を育てる。
- ・自らを律する心を育て、礼節を重んずる生活習慣の確立を図る。
- ・自らを鍛え、健康で豊かな思いやりのある社会人の資質を育てる。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	学校運営の効率化などを図るため、学年と分掌間の連携に努めた。また、ホームページの更新頻度を増やし速報性の高い情報提供に努めた。	学習環境の整備や情報提供など、家庭や地域へ対してより一層開かれた学校づくりを期待している。
改善方策	ホームページの更新や学校通信の発行回数の増加はもちろん、様々な媒体において本校の取組を情報発信する。また、ホームページの閲覧者を増加させる取組を行う。	
教科指導	生徒の基礎的・基本的な学力の定着を図るため、計画的な朝学習と公開授業を実施し、学力の向上に努めた。	継続して、生徒一人ひとりの学力向上に向けた指導や家庭学習の定着を期待している。また、地域の特色を生かした教育活動に期待している。
改善方策	家庭学習の定着を図るため、各教科から宿題や学習課題を課すなど、日常的な学習習慣の定着へ向けた工夫が必要である。今後、生徒に手帳を活用したスケジュール管理や学習管理を行う予定である。	
生徒指導	生徒は落ち着いた学校生活を送っている。今後は相談事や悩み事を抱える生徒への指導体制が必要である。	職員一丸となった継続した指導と、生徒の安全確保に向けた指導を期待している。
改善方策	定期的な身なり指導週間を設定や、生徒相談の体制強化が必要である。	
進路指導	生徒・保護者、地域の期待に応えるキャリア教育と充実した進路指導体制作りを努めた。	今後も生徒や保護者、地域住民の期待に応える進路指導を望んでいる。
改善方策	生徒の適性と発達段階に応じた系統的な進路指導の充実を図る。	